



長岡中央総合病院

Nagaoka Chuo General Hospital

2027年度 | 研修医募集要項

最高の研修を

最高の仲間と！





研修プログラムの 4つの特徴

本プログラムでは、研修の2年間に様々な経験をすることができ、将来いずれの道に進もうと考えているものにとっても有意義なプログラムです。

1 幅広い 初期診療能力を習得

救急外来や一般内科外来での研修を通じ、内科系、外科系、小児科など多数の科、また、walk-inから救急車まで幅広い重症度の患者さんの初期対応を学ぶことができます。

3 地域医療研修で 様々な医療を経験

検査機器もなく、聴診器と自分の五感で判断する診療所や県内厚生連各病院、専門的な緩和医療に触れることができる長岡西病院緩和ケア病棟などを含め、基幹病院だけでなく様々な規模の医療機関で地域に密着した医療を経験できます。

2 こどもの診療も 脳卒中も怖くない

1年目に1ヵ月ずつ小児科研修と神経科研修(神経内科、脳神経外科)を必須とすることで、プライマリ・ケアで重要な位置を占める小児科診療・脳卒中診療を学ぶことができます。

4 豊富な選択期間で 充実した研修プログラムに

自由選択期間を36週間と長期に設定することで、更なるプライマリ・ケア技術の向上を図りたい、将来自分の進む分野に関連する知識を習得したいなど、研修医個々の要望や将来の希望に沿った研修プログラムを自らが作ることができます。

研修計画 (研修プログラム)

内科系・外科系を問わず、診療における基本的能力を身につけ、プライマリ・ケアを行えるようになることを目標とします。

研修スケジュール



必修科目

内科系：6領域(消化器、呼吸器、循環器、内分泌・代謝、腎臓、血液から選択)を24週間ローテート
外科、小児科、産婦人科：4週間
救急：救急科、麻酔科4週、月2-3回の救急外来の日当直(20日分)
神経系：神経内科、脳神経外科から選択 4週間
地域医療：地域のクリニック、小千谷総合病院、見附市立病院、県立十日町病院から選択 8週間
精神科：田宮病院または新潟県立精神医療センターで4週間

選択科目

1年目に4週間、2年目に32週間設定
内科系：内科必修6領域、神経内科、腫瘍内科、血液内科、小児科、放射線科、精神科
外科系：外科、産婦人科、脳神経外科、整形外科、呼吸器外科、皮膚科、泌尿器科、眼科、形成外科、麻酔科、耳鼻咽喉科

研修スケジュール例

☆2年次

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
消化器内科専攻! Aさん	地域医療 6週間 小千谷総合病院	診療所 2週間	小児科 4週間	消化器内科 4週間	循環器内科 4週間	精神科 田宮病院 4週間	放射線科 4週間	腫瘍内科 8週間	血液内科 4週間	消化器内科 8週間		
整形外科専攻! Bさん	脳神経外科 4週間	整形外科 4週	地域医療 6週間 県立十日町病院	診療所 2週間	放射線科 4週間	形成外科 4週	耳鼻咽喉科 4週	精神科 精神医療センター 4週			整形外科 16週間	
迷ってる... Cさん	精神科 田宮病院 4週間	産婦人科 4週間	呼吸器外科 4週間	耳鼻咽喉科 4週間	整形外科 4週間	地域医療 6週間 見附市立病院	診療所 2週間	放射線科 4週間	眼科 4週間			未定

研修協力施設

精神科研修

田宮病院・精神医療センター

地域医療研修

小千谷総合病院・長岡西病院・県立十日町病院・見附市立病院・市内の診療所 他

選択研修

佐渡総合病院・村上総合病院・柏崎総合医療センター・上越総合病院・糸魚川総合病院・長岡赤十字病院・立川総合病院・魚沼基幹病院・新潟大学医学総合病院・宇治徳洲会病院(救急科)・福岡徳洲会病院(救急科)
※最長2ヵ月間可能



● 卒後臨床研修評価機構認定病院

2025年11月に卒後臨床研修評価機構(JCEP)から第三者評価を受審し、2026年2月に臨床研修認定病院として登録されました。これからも更なる臨床研修プログラムの質の改善、ならびにプログラムに基づく研修の質の向上に努めます。

● メンター制度

当院では研修医にとっての円滑な臨床研修のための心理社会的支援、および研修医のキャリア支援を目的に、メンター制度を導入しています。臨床研修メンター制度は安心して研修に取り組めるよう身近な相談相手となるメンターをつける制度です。日々の研修で感じる不安や悩み、患者さんや患者家族へ対する対応、人間関係や将来の進路についても気軽に相談することができます。

1階

救急外来



研修医と言えば救急外来ですよ。当院のある長岡市は輪番制をとっており、3日に1度の当番日には救急車、walk-in問わず多くの患者さんが訪れます。基本的に研修医が1st touchしますが心配ご無用、上級医や看護師さんが優しくフォローしてください。症例数も豊富で忙しく楽しい日々が待っていますよ。検査オーダーをするのはもちろんのこと、動脈血採血や縫合、腰椎穿刺などの手技も経験できます。詳しいお話はぜひ当院で見学どしどしお待ちしております！

心エコーもやるよ

／ 令和7年 救急搬送数4,571件 \

／ 令和7年 内視鏡件数12,788件 \

内視鏡室



ESD中

消化器内科

当院消化器内科の特徴として、内視鏡治療の件数が非常に多いことが挙げられます(2025年はESD 263件、ERCP関連 447件、EUS関連 125件)。また、手を動かして診療に参加できる機会が多く、実際に上部・下部内視鏡検査を行ったり、上記の内視鏡治療でも見学だけでなく介助や一部手技を経験できる機会があります。消化器内科は2年目の自由選択期間でも希望者が多く、研修医に人気の診療科の一つです。見どころが多く、見学にもおすすめです！

呼吸器内科

呼吸器内科では指導医の先生とマンツーマンで、主に入院患者さんを受けもち、研修しています。常時受け持ち患者数は10名前後です。担当する疾患は肺がんから肺炎等の感染症、間質性肺炎、気胸まで様々な呼吸器疾患を診ることができます。イベントとしては月&木は気管支鏡検査、火には呼吸器内科カンファレンスで、新規入院患者さんについて話し合い、水には呼吸器外科合同のカンファレンスがあり、術前検討を行います。気管支鏡検査では、年間300例を超え、1年目からファイバーを持たせてもらうことができます。

気管支鏡検査をしています



放射線科

放射線科は治療科と診断科に分かれています。治療科の研修では、放射線治療の基礎から最新の知見まで多くのことを学ぶことができます。診断科では救外や日常診療でなくてはならないCTやMRIの読影に関して学びます。実際に上級医の指導の下、読影レポートの作成をします。どちらの分野も将来、癌診療に携わるのなら必須の知識です。

読影をしています

循環器内科



カテの助手につくよ

循環器内科では心臓カテーテル検査・治療を主として、HCUでの全身管理や心筋梗塞・心不全に対する救急での初期対応を学ぶことができます。他にもペースメーカー留置や心房細動など不整脈に対するアブレーションなど専門領域の治療を身近で経験することもできます。夜間の急患で緊急カテーテル検査を行うことになった場合は研修医にも連絡が来て、チームの一員として治療に参加します。多職種のスムーズな連携により検査・治療が迅速に行われ、一命をとりとめた患者さんを見ると、循環器内科の素晴らしさ・やりがいを感じることができます。

Family Mart



お昼休憩♪

院内にはファミリーマートがあり、毎日7時から20時まで開店しています。おにぎりやお弁当類は勿論、コンビニならではのスイーツや挽きたてコーヒーを買うこともできるため、忙しい日々には重宝します。また病院内店舗の特徴として、患者さんの入院生活に必要な衛生用品等の物品も揃っています。



- トイレ
- エスカレーター
- 多目的トイレ
- エレベーター
- 階段

当直室



当直室は、個室でベッドがあり、静かな環境でゆっくり休むことができます。シャワー室も完備しています。当直のわずかな休憩時間、疲れた!! 寝ます!!

おやすみなさい

小児科



新生児の
診察をしています

小児科の1日は、県内有数の分娩数を誇る当院産婦人科病棟で出生した新生児の診察から始まります。毎日診察することで新生児を診るポイントがよくわかるようになります。外来では紹介で来院された患者さんの問診から検査までを研修医が行います。小児の問診や診察をする力がここでしっかり身に付きます。病棟では小児のcommon diseaseである気管支喘息、虫垂炎、川崎病、ウイルス感染症、アレルギー疾患などの症例を経験できます。こどもと接する力もここで身に付きます。先生方やコメディカルの皆さんの優しいご指導で成長間違いなしです!

ローストポーク

みそラーメン



職員食堂

当院の食堂「オアシス」は、長岡駅前にあるホテルニューオータニ長岡が営業しています。職員には日替わり定食、丼、麺類が用意されていて、ご飯、味噌汁は盛り放題(常識の範囲内)です。食事中に呼び出されても取り置きしてくれます。美味しいご飯と食堂の店員さんの元気な挨拶で午後の仕事も頑張ろうという気持ちになれますよ。

- トイレ
- エスカレーター
- 多目的トイレ
- エレベーター
- 階段
- レストラン
- 理容室

6ブロック
産婦人科
泌尿器科

5ブロック
皮膚科
麻酔科
耳鼻咽喉科
看護外来

4ブロック
歯科口腔外科
形成外科
小児科

透析センター

病理診断科

手術室

入退院
支援センター

吹き抜け

レストラン

説明室

受付

待合室

ボランティア室

さくら文庫

講堂

気管挿管
をしています

手術室



手術の第1助手です!



慢性硬膜下血腫の
手術をしています

大腿骨近位部骨折の
手術

執刀しています!



麻酔科

麻酔科は1年目で4週間研修します。術前診察であらかじめ予想される問題点や薬剤量などを指導医と相談し、翌日の手術に備えます。手術当日は入室から麻酔導入、術中管理、覚醒まで行います。気管挿管やルート確保、Aラインや麻酔機器の操作など手技も豊富です。どこの科に進んだとしても間違いなく役に立ちます! 頭と体をフルに活用して一緒に研修しましょう!

外科

消化器癌、乳癌、胆石胆嚢炎、ヘルニアなど毎日約5~6件手術を行っています。さらに消化管穿孔やイレウスなどの緊急手術が入る日もあります。研修医も手術に入り、腹腔鏡のカメラ持ちや鉤引き、縫合を行います。手術件数が多いので手技をたくさん経験できますよ。先生方は明るく元気な方が多く、手術中も和気藹々としており、縫合の仕方やヘルニア手術などを優しく教えて下さいます。

脳神経外科

脳神経外科では、頭部外傷や脳血管障害の救急対応を通して、このような誰でも直面し得る場面の対応を学ぶことができます。その一方で、動脈瘤のクリッピング、髄膜腫の摘出、顔面神経の除圧などの手術も行っています。慢性硬膜下血腫の血腫除去は研修医にも執刀のチャンスがありますよ。脳外の先生たちはいつも優しく、緊急時にも変わらず余裕を感じさせるカッコいい先生方です。一緒に実践的な知識を学びましょう!

整形外科

当院の整形外科では手術や手技を多数経験することができます。包丁による切創や転倒による挫創の処置はもちろんのこと、高齢者の大腿骨転子部骨折の手術の執刀など多くのことを先生方のご指導のもと研修することができます。また、当院の整形外科では毎朝レントゲン写真的検討会があります。そこでは読影や撮影条件のポイントなどを学ぶことができ、救急外来の診療にも自信をもって望むことができます。

病理診断科



臨床病理検討会
死因究明もしています

当院では月に1回程度、臨床病理検討会(CPC Clinico-pathological conference)を行っています。CPCでは、その症例の診察に関与した臨床研修医と病理の先生を中心に剖検例の肉眼的、顕微鏡的病理所見と臨床所見との関連について考察し、詳細な病態や死因の解明について検討しています。普段は診察や手技、治療に重点を置いて臨床研修をすることが多いですが、血液検査や画像検査ではわからなかった死因が剖検によって究明され、次の臨床に生かせる貴重な経験ができます!

長岡中央総合病院って
こんなところですよ！

3階

研修医室

当院には医局とは独立して研修医室が設けられています。各研修医に対しデスクが設置され、参考書やパソコンはじめ物品を置くスペースにも困りません。中心にはソファがあり、休憩時の談笑の場となっています。採血、ルート、縫合、エコーの練習を研修医同士で行い、診療内容についてディスカッションするなど、切磋琢磨した研修生活を送ることができます。また、当直の際の仮眠室が2部屋設置されています。上級医の医局は別にあり、研修医のみでこの広さの研修医室はとてありがたいです。



談笑する研修医たち
仲良しです



広くてきれいなデスクで
1人1人のスペースは
しっかり確保!



採血、ルート確保の練習
練習あるのみ!



参考書が並んでいる本棚



2部屋ある仮眠室の1つ、
鍵もかけられて快適です

休憩スペース
コーヒーも飲めるよ!

医局ラウンジ



忙しい診療の日々。たまには休んでいいですよ。ほっとひとときついでみませんか。部下の前では弱音も吐けない上司も、怒られてへこんでる新人さんも、みんな休める場所。疲れた頭では正しい診断もよりよい治療も提供できません。すこしの休憩とひとかけらのチョコが、その日一番の閃きを与えてくれるのかも。カップ麺もお茶も充実しています。ぜひ来てみてください!

研修医のみなさんが
仲間と多くの時間を
過ごす場所



- トイレ
- エスカレーター
- 多目的トイレ
- エレベーター
- 階段

研修室



カルテと連動するスクリーンがあり、カルテを供覧しながら症例検討を行ったり、研修医向けの説明会やオリエンテーションを行っています。当院の研修医は毎週水曜日に持ち回りで自身が遭遇した症例や各科のローテーションで学んで有用と感じたものをスライドにし共有しています。自分以外の研修医が得た経験、知識を得られるだけでなく、「自分だったらどうするか?」を考えるいいきっかけになります。

症例検討会

記録室



医局や研修医室と同じ3Fにあります。病棟のナースステーションが混んでいてパソコンが使えなくても、ここに来ればゆったりとカルテを参照できます。隣に図書室もあり、文献の参照を行いつつカルテ記載をする事が可能です。しかもWi-Fi完備! サマリ記載が捗りますね!

いつでもカルテが見られます。

個人研究費の助成があります!

図書室



多くの分野の雑誌、成書を多く取り揃えています。雑誌は昔のものから最新のものまで幅広く読むことができます。また、文献検索用のパソコンもあり、日々の診療で行き詰まった時、発表の時などに活用しています。

本を借りたり論文を
調べたりできます

院長室



研修医室からすぐ隣にあります。前院長同様、院長在室の時はいつでもドアを開けておきます。大学卒業後は麻酔科、救命救急科を6か月間研修しましたが、専門は整形外科、特に脊椎外科です。皆さんの初期臨床研修の直接指導はできそうにありませんが、年齢なりの人生経験を多少は積んでおります。研修中に人生、生活、人間関係など問題、悩みがあれば、相談に乗ります。遠慮せずに立ち寄ってください。お茶くらいはお出しします。

4階-8階

血液内科



骨髄穿刺中…

血液内科では、指導医の先生1人について、主に病棟業務を行い研修しています。受け持ち患者数は10名前後です。担当する疾患は悪性リンパ腫、白血病、再生不良性貧血、多発性骨髄腫などさまざまな血液疾患をみます。CV挿入、骨髄穿刺などの手技を経験できます。抗がん剤の投与方法、副作用から全身管理なども細く学ぶことができます。

腫瘍内科



カンファレンス

腫瘍内科では、化学療法や免疫抑制療法の導入、全身管理を勉強できます。また、オピオイドを中心とした疼痛コントロールを学ぶことができ、緩和ケアチームへの参加も貴重な経験になります。癌の薬物治療は複雑で専門的ですが、将来腫瘍を扱う科に行くのであれば必要な知識ばかりです。先生方とは距離が近くアットホームな雰囲気です。充実した研修期間になること間違いなしです！

眼科



シミュレーターで練習！

当院の眼科では白内障手術から硝子体手術まで幅広く行っており、様々な手術の補助を経験することができます。また模型、豚の目を使い白内障手術を執刀することもできます。予診として患者さんに細隙灯検査や眼底検査を行うことによって眼科医にとっては必須である非侵襲的手技を習得し、各種所見を観察することも可能です。眼科に興味のある方はぜひ当院で研修しましょう！

呼吸器外科



執刀もできるよ

呼吸器外科では肺癌の他、気胸や縦隔疾患などの手術治療を行っています。県内有数の手術件数を誇っており、ほぼ全例を完全胸腔鏡下で行っています。指導医の先生方の指導の下、胸腔ドレーンの挿入や肺部分切除など研修医が執刀する症例もあります。緊急時の処置から手術に関することまで幅広く指導して頂けるため呼吸器外科志望の人はもちろんですが、他の科を考えている人にもおすすめしたい研修科です。

内分泌代謝内科



先生と相談して
インスリンの種類や
量を決めます

内分泌代謝内科では糖尿病を筆頭とした様々な疾患を診ています。糖尿病の治療といっても血糖を見ているだけでなく、患者様の気持ちや生活状況を考慮しながら、治療をしています。当院の内分泌で研修すれば、患者にしっかりと寄り添える医師に自然となれるのではないかと実感致しました。

産婦人科



1ヶ月検診の
エコー中

当院の産婦人科は、分娩件数年間約259件(内、帝王切開70件)手術は年間約499件と分娩・手術ともに多く行なっています。手術では第2,3助手として参加し、良性・悪性ともに様々な疾患を経験することができます。骨盤臓器脱にメッシュを用いた矯正手術(TVM手術)や、膣式子宮全摘等、他の病院ではあまり行なっていない珍しい手術も見ることができます。2年目では帝王切開の執刀も経験できます。

泌尿器科



エコーするよ

研修医として働き始めると、頻尿や尿管結石・血尿、尿路感染など泌尿器科に関わる事例に多く遭遇します。泌尿器科の研修ではそれらの疾患を主体となって診ることが出来ます。先生方の指導のもと問診・診察からエコー、膀胱鏡検査などの検査をすすめ診断・治療につなげていきます。手術でも多くの手技を習得することができます。これらの経験は日々の診療の自信につながります。ぜひ、泌尿器科で研修を行いましょう！

皮膚科



外来で処置中

皮膚科研修では、主に外来の初診患者を担当します。指導医の丁寧なサポートのもと、多彩な疾患を経験することができます。皮膚所見のとり方や適切な外用剤の選択など、基本的な知識をしっかりと身につけることができます。さらに、薬疹への対応や、創傷の処置法など、他科を専攻する上でも役立つ知識を多く身につけることができ、充実した研修を送ることができます。

神経内科



腰椎穿刺は
4週間で10例近く
経験できます

神経内科では、脳血管疾患、変性疾患、神経感染症など様々な患者さんを診療しています。入院患者さん、外来患者さんの神経診察はもちろんのこと、腰椎穿刺、頸動脈エコーなどの手技も多く経験することができます。また、訪問診療、他職種を交えたカンファレンスなど慢性期の治療を学ぶ機会も多くあります。

腎臓内科



血液透析用の
シャントを作っています

腎臓内科は尿検査異常から重症腎不全まで、腎臓に関わるさまざまな疾患を対象とする全身を扱う内科です。病棟や透析室の管理を週に1度は行ったり、透析シャント造設術、PTA(経皮的血管形成術)、腎生検があり、指導医の先生方のご指導の下で研修医も実際に行うことができます。

耳鼻咽喉科・頭頸部外科



診療しています

当院耳鼻咽喉科では、耳鼻咽喉科全般の症例を経験できますが、特に頭頸部癌診療に力を入れております。耳鏡・鼻鏡・喉頭ファイバーの使い方はもちろん、気管切開術・甲状腺手術・喉頭全摘術などの頸部手術を十分に経験することができます。また、「めまいを勉強したい」「嚥下障害に興味がある」など、集中して学びたいことがあれば、臨機応変に研修内容を考えます。ぜひ耳鼻咽喉科へ学びにきてください。

形成外科



包帯は
丁寧に

当院の形成外科では外傷、再建術などを始め潰瘍、熱傷、褥瘡など幅広く治療を行っています。研修中には指導医の下、患者さんの外傷を縫合するなどの様々な手技、治療を経験することができます。また、教育熱心で経験豊富な先生方がいらっしゃる事も当科の魅力であります。ぜひ、当院の形成外科で研修しましょう！

長岡中央総合病院の救急

「地域の医療は地域で守る」が合言葉

三日に一度の3病院輪番制(長岡赤十字病院・当院・立川総合病院) 2次医療を提供しています。原則として長岡医療圏が対象ですが、実際には魚沼地区や県央地区もカバーしています。患者数 840人/月 救急搬送 370人/月 入院 254人/月(令和7年9月実績) 症例は豊富で、初期研修として十分な経験を積むことができます。

体制

●平日日中

救急患者は各科の救急担当医師が対応。疾患が特定できない場合、内科系上級医の指導のもと救急番の研修医が対応。

●時間外

研修医は、当番日に参加。当直医(内科系1名、外科系1名)の指導医のもと、2名が副直として参加。患者の多い準夜帯には、準夜フリー番として3人目の研修医が参加。深夜帯は4時間ずつ休憩し、当直翌日は、午前の業務が済みしだい帰宅。

上級医の指導のもと、幅広く研修に参加してもらいます

救急医療に向けての教育活動

着任時オリエンテーション

- 外傷の初期対応と外科縫合(実習)
- 輸液の実際(講義)
- 重要な心電図(講義)
- 胸部レ線の見方(講義)
- 身体診察(胸部・腹部・神経)
- ICLSコース
心肺停止患者に対する初期対応について学びます。日本救急医学会認定コース
インストラクターを目指している研修医もいます。(令和4年は2名取得)



外傷の初期対応と外科縫合(実習)



ICLSコース



JMECC

救急ガイダンス

5月連休明けに開催

各科専門医によるモーニングレクチャーで、当院の救急に密着した各科救急の解説してもらいます。講義は動画で復習できます。

JMECC(内科救急初期対応コース)

12月開催

ICLSに加えて、心肺停止前の不安定状態患者に対する対応を学びます。日本内科学会認定コース
内科専門医を目指す人には必修のコース

12月某日の当直

内科系 研修医 A先生

この日、一晩を通して私がファーストタッチとして診察した患者は15人でした。

17時になり、いよいよ当直が始まります。朝から浮動性のめまいが続いている、階段の下で倒れていて息をしない、毎日おむつ交換をしているが初めて血便が出ていた、飲みに行った帰宅後に意識レベルが低下している、…様々な主訴の救急車が飛び込んできます。救急隊からの申し送りをもとに問診や診察をしつつ、ルート確保は必要? その場合輸液は? 検査はどこまで行う? 画像検査も必要? パイタルは? …状態を見ながら指導医の先生にご相談しつつ、緊急性のトリアージや鑑別を進めていきます。めまいの症例では身体診察やCT・MRIの画像検査から中枢性ではなく末梢性めまいと診断し、血液検査にも異常がないことを確認した上で点滴加療にて症状は改善したため帰宅の方針としました。救急車の症例だけでなく、その合間にウォークインで来た患者の診察も行います。

日付が変わり、救急外来が落ち着いてきたところで深夜帯は交代で休憩に入ります。私は後半での休憩となり0時~3時半の間全科の患者を診ることになりました。嬉しいことに新規の患者はほぼ来ず、少し長めに休めました。7時を過ぎたところでPHSが鳴り、脱力を主訴に来院した救急車が今回の当直最後の患者となりました。各種検査結果を見て指導医の先生にご相談し、神経内科にコンサルトする方針としました。

久しぶりの内科当直で緊張していましたが、サポートしてくださる看護師さんやすぐに相談できる指導医の先生が周りにいる環境で無事に終わることができました。

外科系 研修医 B先生

当院の救急外来は基本的に研修医がファーストタッチを任されているため、まず研修医に連絡が来て対応にあたる。もちろんわからないことがあれば上級医に相談し、一緒に対応してもらうこともある。

17時、さっそく救急外来から「転倒し股関節痛を訴える患者が救急搬送されてきました。」とコールがあった。

まず救急隊から申し送りを受け、患者の診察、必要な検査をオーダーした。レントゲンで骨折を認めており、追加に必要な検査をオーダーし上級医へ相談した。その後上級医から専門科へコンサルトしていただいた。

その後も、骨折や脳出血などの患者が搬送されてきたが同様に対応した。

途中で腸管穿孔疑いの患者が他院から転院搬送されてくると連絡があったが、今回は当番の外科の先生にも直接連絡があり対応していただいた。

救急車を対応しつつ、ウォークイン患者も診ていく。この日は軽症患者だけであったが、縫合や脱臼の整備といった処置が必要な症例もある。特に縫合処置は外科当直では必ず経験することになるが、当院では入職後に縫合練習をしっかりと指導してもらえる。いざ縫合するとなった時に困ることは少ないかもしれない。

24時頃に外科系の患者は落ち着いたので、先に0時~3時半まで休憩をもらった。

4時前に救急外来からコール。発熱や便秘による腹痛、尿路結石、頭部外傷などの患者の対応にあたった。

8時半頃患者が来ないことを確認し、当直は終わりをむかえた。

12月某日の当直患者一覧

内科系 20人

年齢	性別	主訴・診断
60代	女	頭痛・嘔吐
90代	女	肺炎
90代	女	胸痛
60代	男	めまい
80代	女	意識障害
10代	女	腹痛
70代	女	めまい
90代	女	誤嚥
80代	女	右不全麻痺
10歳未満	男	発熱
50代	男	皮疹
80代	女	急性腹症
10代	男	発熱
80代	女	動悸
10歳未満	男	熱性痙攣
70代	女	右半身感覚障害
10歳未満	男	痙攣発作
60代	女	腹痛
20代	女	腹痛
40代	男	右上肢しびれ

外科系 8人

年齢	性別	主訴・診断
60代	女	左大腿骨骨折
50代	女	頭部外傷
10歳未満	男	肘内障
10歳未満	男	切創
80代	女	左大腿骨骨折
70代	男	尿閉
100代	女	頭部外傷
80代	男	腹腔内膿瘍

ファーストタッチは研修医です!
患者数も多く、判断に迷うこともありますが、指導医と相談しながら診察にあたるので、安心です。救急外来の対応力が身につきます!



平日 当番日 当直帯のER患者数 (令和7年9月~11月)

	内科系	外科系
平均	22.4人	11.6人



研修医メッセージ



幅広い手技や症例に触れられます

杏林大学出身 2年次研修医 小柳 慧司

私は病院見学の際、救急外来で研修医の先輩方が主体的に初期対応を行っている姿や、各診療科で多くの手技を経験できると伺ったことに魅力を感じ、この病院を選びました。見学中にも、医局全体の穏やかな雰囲気や、上級医の先生方・看護師さん・他職種の方々の温かさが強く印象に残りました。

実際に研修を始めてみると、その印象はさらに確かなものになりました。救急外来では、研修医が主体となって患者さんを診る機会が多く、初期対応の基本から判断・処置まで、段階を踏んで経験を積むことができます。困ったときには必ず上級医の先生がそばにいてくださり、どんな些細な疑問にも丁寧に答えてくれるため、安心して挑戦できる環境です。

当院の特徴のひとつは、志望科に関係なく幅広い症例と手技に触れられることだと思います。採血やルート確保といった基本的な手技はもちろん、胸腔穿刺・中心静脈確保・縫合など、多くの実践的な手技を早い段階から経験できます。研修医の裁量が限られる病院もある中、当院では上級医の先生が機会を与えてくださるため、成長のチャンスが多いと感じています。将来どの専門科に進むとしても、救急や別の診療科での経験が思わぬ場面で役立つことが多く、幅広く学べる研修は確かな糧になると日々実感しています。

研修医室は明るく広々としており、休憩中につき雑談が始まるような、自然と居心地の良さを感じられる空間です。同期や先輩との距離も近く、分からないことをすぐ相談し合える環境が整っているのも、大きな安心につながっています。仕事だけでなく、オフの日に食事や遊びに行くことも多く、学びとプライベートの両方を楽しめるバランスの取れた研修生活を送れています。

病院の雰囲気や研修の実際は、見学して初めて分かる部分も多いと思います。救急外来の空気感や研修医室の雰囲気など、ぜひ一度見学に来て体感してみてください。きっと、この病院の温かい環境を実感していただけると思います。



ぜひ見学に来てください!

新潟大学出身 1年目研修医 西野 弥祐

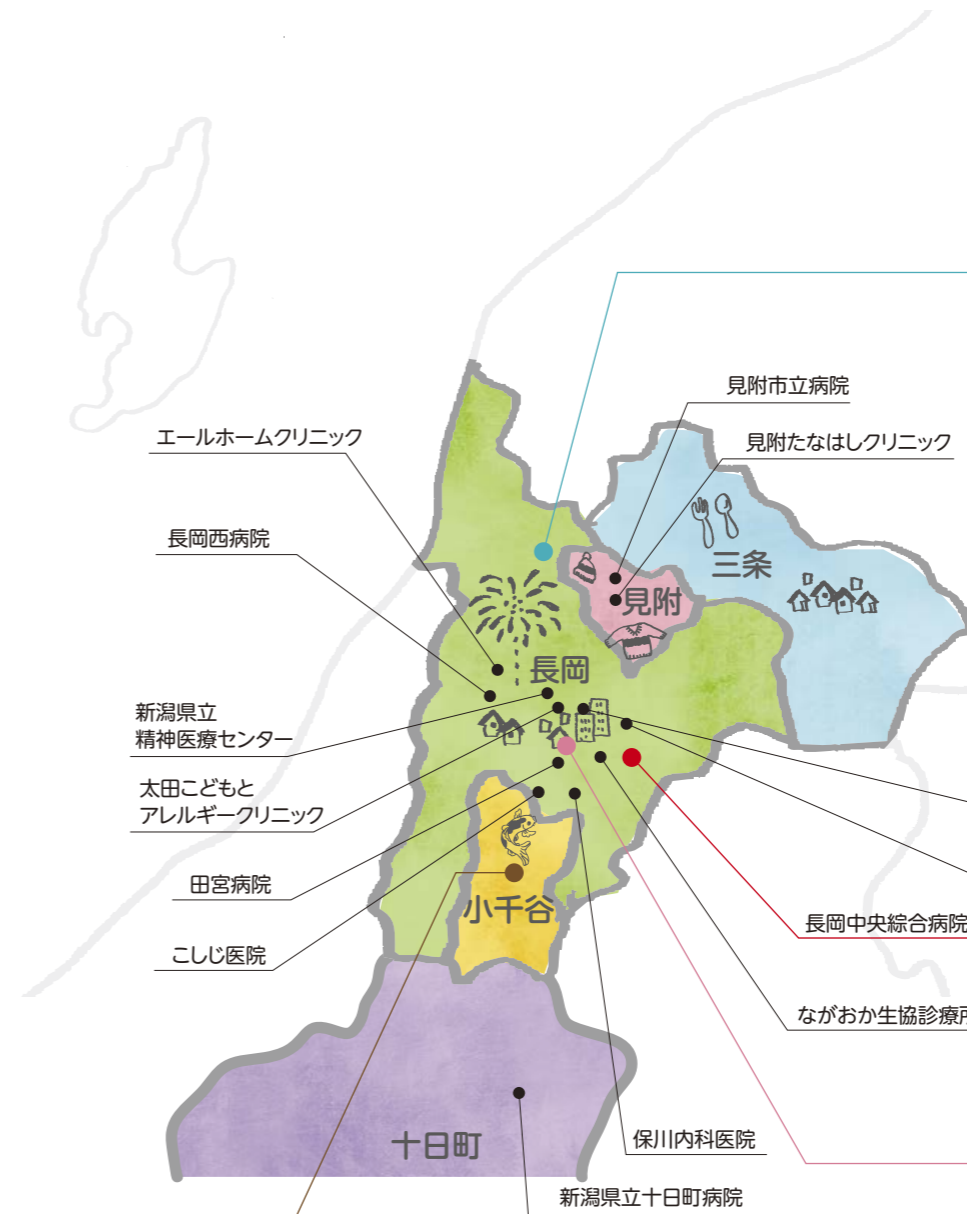
私は学生のとき、当院の研修医の方から「一回見学に来てくれたら、絶対うちの良さがわかると思う!」と言われ、その言葉が忘れられず、病院見学に行きました。実際に見学に行った際に、研修医の先生方がいきいきと楽しそうに働いている姿が印象的で、自分もその一人になりたいと思い、この病院を選びました。働き始めて半年以上が経ちましたが、熱心にご指導くださる上級医の先生方、頼もしいコメディカルの方々、そして明るく楽しい研修医の先輩や同期のおかげで、毎日充実した研修生活を送っています。

私が最も成長を感じる場は救急外来です。当院の救急外来ではさまざまな症例がやってきますが、研修医がそのほとんどのファーストタッチを担当します。救急外来に入るたびに自分の知識不足や経験不足を痛感し、反省することも多いですが、その自分自分の診療の引き出しが増えていくのを感じています。上級医の先生方のフォローとご指導がいただける環境で、幅広い症例に対して自分自身で考えて対応する経験を積むことができるのは、当院の研修の大きな魅力だと思っています。

また、研修医同士の仲の良さも当院の自慢です。プライベートではみんなで集まって飲み会やスポーツ、キャンプなどを行っています。悩みや不安があっても、研修医室で研修医の先輩や同期にすぐに相談でき、彼らが明るく受け止めてくれるため、日々気持ちを切り替えながら前向きに取り組んでいます。研修医の共に成長し合い支え合う雰囲気は、当院ならではの魅力だと感じています。

ぜひ一度見学に来てください! 当院の魅力を感じていただけると嬉しいです。

院外研修先 一覧 (地域医療・精神科)



- エールホームクリニック
- 長岡西病院
- 新潟県立精神医療センター
- 太田こどもとアレルギークリニック
- 田宮病院
- こしじ医院
- 見附市立病院
- 見附たなはしクリニック
- 三条
- 見附
- 長岡
- 小千谷
- 長岡中央総合病院
- ながおか生協診療所
- 保川内科医院
- 新潟県立十日町病院
- 十日町
- 草間医院
- あたごこどもクリニック

小千谷総合病院

当院は平成29年に公益財団法人小千谷総合病院と厚生連魚沼病院が統合し、新築移転された病院です。急性期医療のほか、周辺地域の急性期病院から、在宅や施設入所への橋渡しとなる回復期、慢性期の医療を行っています。



初期研修2年目になりますと、それまでの研修で足りないところ、もっとやりたいところがみなさん出てきているはず。常勤医が不在の診療科もあり、すべての希望に応えることはできないかもしれませんが、当院で対応できる範囲で「かゆいところに手が届く」内容になるよう、診療科や業種の垣根を越えて応援します。

指導医 山田 一樹

さえき内科



当院は地域密着の診療を柱の一つにしています。持病の治療そして急病への対応を素早く行うのはもちろん、高齢者は退院後介護度が上がることで多いので、介護機関と連携して介護保険利用を勧奨し介護サービス利用の相談にのり、そしていよいよになったら在宅医療に伺い希望のお宅での在宅看取りも行っています。一旦総合病院を離れて、家庭医の視点からの紹介/逆紹介その後の地域医療の実態を肌で味わうことは、必ず皆さんの将来の糧になると思います。会えることをスタッフ一同心から楽しみにしています。

指導医 佐伯 牧彦

三上医院



旧長岡市内の住宅地で昭和41年12月に開院した診療所です。3世代、4世代にわたり通われているご家庭もあります。そんな診療所で一体何が行われているのか?ここからどのような方が病院へ紹介されているのか?さらにどのような方なら当診療所へ逆紹介できるのか?また一般診療、訪問診療とは別に長岡拘置所での仕事も同席していただきます。そんな日常を少しでも肌感じていただければとの思いで地域医療研修をお受けしています。

指導医 三上 理

研修医の出身地

	1期生	2期生	3期生	4期生	5期生	6期生	7期生	8期生	9期生	10期生	11期生	12期生	13期生	14期生	15期生	16期生	17期生	18期生	19期生	20期生	21期生	22期生	合計(人)
新潟県内出身	6	2	6	3	7	4	2	5	4	4	6	5	5	7	7	7	6	5	7	7	3	5	113
県外出身		3		2	1	4	4	3	4	4	1	3	4	2	3	3	4	5	2	2	7	5	66
	6	5	6	5	8	8	6	8	8	8	7	8	9	9	10	10	10	10	9	9	10	10	179

*県外出身者の出身地 東京都・神奈川県・埼玉県・千葉県・栃木県・茨城県・静岡県・長野県・富山県・山形県・宮城県・北海道・佐賀県・熊本県・愛知県・群馬県・京都府・兵庫県

研修医の1日

内科

8:30 カンファレンス
採血

9:00 検査結果チェック
指示出し
治療方針決める

10:00 点滴のルート取り



11:00

12:00

13:00 昼食



14:00 検査・治療
カテーテル検査
検討会

15:00

16:00 指導医と回診
治療方針考える

17:00 終業

18:00 研修医症例検討会
週一回(概要右ページ)



外科

8:30 カルテチェック
カンファレンス
透視・造影検査



9:15 回診 検査
処方

10:00

11:00 Ope



12:00

13:00

14:00

15:00

16:00 回診
カルテ・翌日の入院指示
検討会資料作成

17:00 終業



学会発表

第77回日本消化器病学会甲信越支部例会

演題名：集学的治療にて長期生存を得ている BRAF 変異型大腸癌の1例

私は、2025年11月29日に山梨県で行われた第77回日本消化器病学会甲信越支部例会に参加し、一般演題「大腸①」で「集学的治療にて長期生存を得ているBRAF 変異型大腸癌の1例」を発表しました。

入職後、最初に研修させていただいた腫瘍内科にて、上級医の先生から声をかけていただき、学会発表に参加することになりました。研修医になったばかりの頃で、自分に務まるのかという不安がありました。しかし、日々の診療の中で先生方が丁寧に指導して下さっており、挑戦することで成長に繋がると感じ、参加を決意しました。

腫瘍内科での研修では進行癌に対して治療強度や患者生活とのバランスを考えながら治療方針を選択していく難しさを感じました。今回の症例では、予後不良とされるBRAF V600E変異型大腸癌に対し、BEACON療法(セツキシマブ+エンコラフェニブ+ビニメチニブ)と肝転移切除を組み合わせることで長期間腫瘍制御が得られた経過を提示しました。

今回の症例を検討する中で、BRAF V600E変異型大腸癌に対する治療選択の難しさや、状況に応じた柔軟な治療戦略の重要性を学びました。BEACON療法は2020年に新たに承認された化学療法で、従来の化学療法と比較して奏効率や生存期間の改善が報告されています。本症例では、BEACON療法の導入が奏効し、個別化治療の重要性を実感しました。

発表準備にあたっては、スライドの構成やCT画像の提示方法、治療選択の背景の整理に苦労しましたが、指導医の先生に繰り返しディスカッションしていただき、少しずつ形にすることができました。当日は質疑応答でもいただいた質問に自分の言葉で答えることができ、大きな達成感がありました。

学会では、他院の研修医や専門医の先生方の発表にも触れ、多様な視点や治療戦略を知ることができ、非常に刺激を受けました。今回の経験を通して、腫瘍内科・消化器分野に対する興味により深まり、今後の研修や診療にも活かしていきたいと考えています。

1年次研修医 佐野 丈



令和7年度 学会発表実績

経験豊富な指導医が丁寧に指導します！

第77回日本消化器学会甲信越支部例会

「腎盂尿管癌が原発であった悪性胆道狭窄の一例」

2年次研修医 長部 大地

「集学的治療にて長期生存を得ているBRAF 変異型大腸癌の1例」

1年次研修医 佐野 丈

「胃切除Roux-en-Y再建後、十二指腸憩室に形成した腸石が落下し腸閉塞をきたした一例」

1年次研修医 平塚 侑

「ゾルベツキシマブ併用療法が奏効し、コンバージョン手術を施行した胃癌の一例」

1年次研修医 柴 茉莉香

第157回 日本内科学会信越地方会

「肝細胞癌に対する免疫チェックポイント阻害剤・VEGF阻害剤の併用療法中に心不全を来したATTRアミロイドーシスの1例」

2年次研修医 明利 憲尚

研修医症例検討会 タイトル一覧

原則として週に一回研修医同士で、自分が担当した症例を発表する検討会を行っています。他の研修医の経験学習を共有することで多くの実例を学び、互いに研鑽しあうことを目的としています。

内科医局会タイトル

- 小児のタバコ誤飲 ●診断の再検討を要した発熱+関節痛の一例
- ネフローゼ症候群再発の一例 ●2型呼吸不全の一例
- 抗菌薬投与前から持続する腹痛から偽膜性腸炎の診断に至った一例
- 救急外来で見落とししかけた一例 ●適応障害治療中に水中毒を発症した一例
- 発熱、咽頭痛、頸部痛、頸部リンパ節腫脹を呈した8歳男児例 ●小児下痢・血便の鑑別
- COVID-19感染後にDKAを発症したCOVID-19肺炎が重症化した一例
- 他剤内服開始直後に下痢を発症したため、診断に時間を要したランソプラゾールによるCollagenous colitisの一例
- 両側反回神経麻痺による呼吸困難を呈した一例



修了者の進路

臨床研修 修了後の進路

	1期生	2期生	3期生	4期生	5期生	6期生	7期生	8期生	9期生	10期生	11期生	12期生	13期生	14期生	15期生	16期生	17期生	18期生	19期生	20期生	21期生	合計(人)
新潟大学 循環器内科								1				1	1									3
新潟大学 血液・内分泌代謝内科													1							1		2
新潟大学 呼吸器・感染症内科			1		1		1			1						1						5
新潟大学 消化器内科	1		1		2	1	3	3	1		2	2	1	2	1	1			1	1		23
新潟大学 腎・膠原病内科																	1				1	2
新潟大学 小児科		1				1	1								1	1	2					7
新潟大学 消化器一般外科		2	1	2		2	2		1	1	1	1	1		2	3	2	2				23
新潟大学 心血管外科・呼吸器外科																	1					1
新潟大学 整形外科				1	2	1		1				1	2	3		1	2	1		1	2	18
新潟大学 形成外科				1		1					2							2				5
新潟大学 産婦人科				1					1	1		1		1	1	1					1	8
新潟大学 脳神経外科							1			1				1								3
新潟大学 麻酔科					1	1		1											1			4
新潟大学 放射線科	2		2										1								1	6
新潟大学 泌尿器科					1					1	1							1		3		7
新潟大学 眼科				1										1								2
新潟大学 精神科			1						1													2
新潟大学 神経内科										1												1
新潟大学 総合診療科	1				2																	3
新潟大学 皮膚科														1	1							2
新潟大学 耳鼻咽喉科・頭頸部外科														1					2	1		4
河渡病院 精神科							1															1
新潟市民病院 循環器内科										1									1			2
新潟市民病院 消化器外科												1			1							2
新潟市民病院 外科													1						1			2
新潟市民病院 救急科																					1	1
長岡赤十字病院 救急科																	1		1			2
県内合計																						141
大阪大学 呼吸器内科	1																					1
筑波大学 膠原病内科	1																					1
昭和大学横浜市北部病院 消化器科		2																				2
昭和大学 救急科					1																	1
亀田総合病院 救命救急科								1														1
山形大学 第一外科									1													1
板橋中央総合病院 麻酔科									1													1
東北大学 病理診断分野										1												1
富山大学 呼吸器外科											1											1
東京医科歯科大学 救急科													1									1
東京医科歯科大学 精神科																			1			1
東京医科歯科大学 腎臓内科																1						1
東京科学大学 小児科																					1	1
東京科学大学 消化器内科																					1	1
東京慈恵会医科大学 循環器内科																					1	1
千葉大学 総合診療科														1								1
横浜市立大学 産婦人科															1							1
横浜市立大学 消化器内科																					1	1
松戸市総合医療センター 救急科																1						1
名古屋大学 呼吸器外科																		1				1
浜松医科大学 産婦人科																			1			1
獨協医科大学 埼玉医療センター 放射線科																			1			1
群馬大学 小児科																				1		1
帝京大学 放射線科																			1			1
杏林大学 眼科																				1		1
京都大学 耳鼻咽喉科・頭頸部外科																					1	1
県外合計																						27
	6	5	6	5	8	8	6	8	8	8	7	8	9	9	10	10	10	10	9	9	9	168

※多くの科に先輩が入局しています。消化器内科、呼吸器内科など入局後の3年目も当院で研修できる科もあります。

卒業生からのメッセージ



長岡中央総合病院
消化器内科
▶ 19期生
堀江 篤

多数の症例を最前線で学べます

初めて当院を見学した際、救急外来の最前線で活躍する先輩研修医の姿が印象的でした。実際に自分が研修医になると、数多くの症例で1st touchを行い、鑑別診断や必要な検査を自ら考えて実施することで、実践的な能力を身につけることができました。また、各科の指導医による手厚いバックアップもあり、多彩な臨床経験を積むことができました。

研修時代を共に過ごした同期とも仲が良く、今でも頻りに連絡を取り合っています。まだまだ伝えきれない魅力がたくさんありますので、是非一度見学に来て、実際の雰囲気を感じてみてください。

臨床研修修了後も引き続き当院で専門研修が可能です！ 専門研修プログラム

整形外科専門研修

2024年度より当院においても整形外科専門研修プログラム(II型)を開始いたしました。早速ですが、今年度から2名の専攻医の先生が研修を始められています。当院の整形外科手術件数は約1500件となっており、新潟県内の総合病院では群を抜いた件数となっております。また、その中身も外傷に偏ることなく、腰部脊柱管狭窄症、腰椎椎間板ヘルニア、頸椎症性脊髄症、腱板断裂、人工関節置換術、前十字靭帯損傷など幅広い整形外科疾患を網羅しております。もちろん外傷も切断指再接着など高難度の治療も行っております。整形外科に興味を持たれた先生がいらっしゃいましたらぜひ当院の専門研修プログラムもご検討いただけたらと思います。初期研修からの連続研修も大歓迎です。

長岡中央総合病院整形外科専門研修プログラム統括責任者
整形外科部長 浦川 貴朗



内科専門研修

2025年度より、当院でも内科専門研修プログラムを立ち上げました。さっそく応募があり、1名を採用しました。

当院は、豊富な症例があり、伸び盛りの若い力を育てるのに適した環境だと思います。また、プログラムの組み立てが比較的的自由ですので、専門を何科にするか迷っている研修医、もっと内科的実力を身につけたいと考えている研修医の受け皿という役割も担えるのではないかと考えています。

どうぞ内科系志望の先生方の進路の選択肢に加えて下さい。お待ちしております。

また、初期研修を当院でと考えている方にもお勧めします。初期研修と同じ環境で研修を続けることができるというメリットがあります。当院で、初期研修+専門研修とセットで研修を行うのも良いのではないのでしょうか。興味のある方は、どうぞ、教育研修センターにご相談下さい。

長岡中央総合病院内科専門研修プログラム統括責任者
副院長/呼吸器内科部長 岩島 明



臨床研修医募集要項

- **研修医定員数**
マッチング制度に基づき公募し、10名を採用する。
- **応募資格**
2027年3月卒業予定者および既卒者
- **募集と選抜方法**
募集は公募とし、面接試験他を行う。
- **研修プログラム**
厚生労働省の臨床研修の到達目標に準じ、そのすべてを身につけることを目標とする。

- **試験日**
2026年 ①8月14日(金)・②8月17日(月)
募集締切日 ①8月7日(金)・②8月12日(水)
※詳細は随時ホームページで公開します。
- **申し込み方法**
上記締切日までにエントリーシート必着のこと。
書式はホームページからダウンロードできます。
<https://www.nagachu.jp/>
※エントリーシートを印刷し、所定事項を記入した後、下記宛先(研修管理委員会)まで郵送してください。(配達証明又は書留)
※エントリーシートがダウンロード及び印刷ができない方は、エントリーシートをご請求ください。

研修医の処遇

- **研修医の身分**
身分上の取り扱いは常勤臨時とする。
- **給与**
1年次
基本給 350,000円 当直手当 19,400円/回
時間外手当 厚生連規定により支給
月額平均 500,000円程度 賞与なし
2年次
基本給 380,000円 当直手当 19,400円/回
時間外手当 厚生連規定により支給
月額平均 570,000円程度 賞与なし
2年間20万円まで個人研究費があります。
- **宿舍**
住宅補助あり/研修医用住居あり
- **研修終了後の進路**
臨床研修管理委員会などと相談して、研修医が自ら選択する。当院での後期研修も可能。

- **社会保険**
加入
- **医師賠償責任保険**
病院加入及び個人加入
- **勤務時間**
月～金曜：8:30～17:00
但し受け持ち患者によっては、居残り、夜間呼び出しを余儀なくされることがある。日当直：1年次、2年次共、1ヶ月に2回、副直としてこれに当たる。
- **休日**
土曜・日曜・祝祭日・夏期休暇(連続した7日間)



病院見学・実習のご案内

春休み、夏休みを問わず随時受け付けています。
お問い合わせは当院ホームページまで。(宿泊可)

問い合わせ
及び
資料請求先

長岡中央総合病院 臨床研修管理委員会
〒940-8653 新潟県長岡市川崎町2041番地 TEL.0258-35-3700(代表) FAX.0258-33-9596
E-mail:resident_nc@nagachu.jp <https://www.nagachu.jp/>



病院の理念

地域の中核病院として、皆様の健康を守る為
良質で心温まる医療を提供し
予防・保健・福祉活動を積極的に推進いたします。

病院のビジョン

「すべての職員が仕事に誇りとやりがいを感じられる職場作り」
「皆様に信頼され選ばれる病院」

研修の理念

- 初期研修の間に、医療の未来を担っていくにふさわしい人格と倫理観を涵養する。
- 医師として必要な知識と技術を身につけ、医療に求められる役割を正しく理解し、さらに、それらを常に学び続ける姿勢こそが重要であると認識し、実践できる医師を養成する。



新潟県厚生連
長岡中央総合病院
病院長
矢尻 洋一

見学型
ではなく
参加型
の研修

医学部を卒業され、新しく医師になられるあなたへ
医師免許を得て、今後2年間の初期臨床研修を迎えるにあたり、期待と不安でいっぱいのことと思います。当院は平成16年の初期臨床研修開始より延べ約170名の研修医を受け入れてまいりました。当院は全34科の診療体制と入院500病床を有し、基幹型臨床研修指定病院、地域がん診療連携拠点病院です。救急車受け入れ数、外科系手術件数、分娩数、救急患者受け入れ数、外来入院患者数ともに皆さんが研修において十分な経験ができるだけの実績があります。この2年間の研修が、今後の皆さんの医療人としてのあり方、患者さんに向かう姿勢、物事の方眼に大きな影響を与えます。当院の初期臨床研修の方針は「見学型ではなく参加・実践型の研修」です。失敗を恐れず、どんどん意欲的に経験を積んでください。また先輩、同僚、コメディカルの皆さんとも良好なコミュニケーションのもと、社会人としても成長してください。この忙しく大変な時期に築いた人との絆は、必ずや人生の宝物になると思います。春の雪解けと桜、夏の長岡花火、秋のお米、冬の雪と四季折々の長岡の生活も楽しんでください。充実した研修ができるように指導医はもちろん、職員一同、皆さんを応援いたします。是非当院で初期研修を行い、我々の仲間として、一緒に長岡、中越地域の医療を支えていきましょう。そして2年後には大きな成長とともに羽ばたいているでしょう。一緒に働けることを楽しみにしております。

当院は、中越地域の医療を支える中核病院です。日々の診療を通じて多くの症例を経験し、確かな臨床力を身につけるとともに、患者さん一人ひとりの背景に寄り添い、心に届く医療を実践する力を育むことを大切にしています。

また、医師だけでなく、看護師、薬剤師、検査技師、リハビリスタッフなど多職種の間と協働し、互いに支え合いながら学べる環境が整っています。そこで得られる経験や人とのつながりは、皆さんの大きな成長につながることでしょ。

私たち指導医・スタッフ一同は、研修医一人ひとりの挑戦を温かく見守り、失敗を恐れず前へ進めるよう全力でサポートしています。当院で医師としての第一歩を、ぜひ踏み出してください。皆さんと共に学び、成長できる日を心より楽しみにしています。

確かな
臨床力
現場で
磨く



研修管理委員長
高村 昌昭



長岡市について

東京から上越新幹線で約100分、関越自動車道で約3時間、関東-北陸間の要所である新潟県中部(中越地方)の中心都市。日本一の大河・信濃川が市内中央をゆったりと貫流しています。信濃川を軸として形成されてきた長岡市は季節の移り変わりが鮮やかで、美しく豊かな自然風土に恵まれています。海や山も近く、夏は海水浴、冬はウィンタースポーツ等、年間を通して様々なレジャーも楽しむことができます。戊辰戦争と長岡空襲で、2度の戦禍に遭いながら、その都度、長岡のまちは、「米百俵」の精神を受け継ぐ市民の力で復興を成し遂げてきました。中越大地震をはじめとした相次ぐ災害にも、「市民力」「地域力」そして「市民協働」のパワーで、新たな価値を生み出す「創造的復興」に取り組んでいます。また、毎年8月2日、3日に、信濃川河川敷を舞台に行われる長岡まつり大花火大会は全国的に有名です。

当院へのアクセス

- 長岡駅東口4番線バスのりばから乗車10分
- 関越自動車道 長岡I.Cから車で15分



新潟県厚生農業協同組合連合会 長岡中央総合病院

〒940-8653 新潟県長岡市川崎町2041番地 TEL 0258-35-3700(代) FAX 0258-33-9596 URL <https://www.nagachu.jp/>

【診療科目】 内科、消化器内科、呼吸器内科、腎臓内科、血液内科、循環器内科、腫瘍内科、神経内科、小児科、外科、消化器外科、整形外科、脊椎脊髄外科、リウマチ科、形成外科、脳神経外科、頸頭部外科、呼吸器外科、心臓血管外科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、精神科、心療内科、放射線科、放射線治療科、臨床検査科、リハビリテーション科、麻酔科、病理診断科、救急科、歯科口腔外科 (34診療科)

- 臨床研修指定病院(基幹型・協力型) / 平成15年4月1日 指定
- がん診療連携拠点病院 / 平成18年8月24日 指定
- 地域医療支援病院 / 令和3年3月30日 承認
- 日本医療機能評価機構認定病院(一般病院2) / 令和5年2月認定
- 卒後臨床研修評価機構(JCEP)認定病院 / 令和8年2月認定